

0 「史料」とは

古文書・古記録・編纂物(典籍)、金石文、考古資料、美術資料、民俗資料、etc.

I 古文書(こもんじょ)

1、「有名」な文献史料と文化財指定

高校の教科書で、原文(読みやすくしたもの)が囲み記事で紹介される文献史料

※東京書籍『日本史B』(2004年度版):平安～織豊期(政治史・社会経済史分野)より

徳政相論:『日本後紀』(◎あり)

藤原氏の栄華:『小右記』(◎あり)

大名田堵の農業経営:『新猿楽記』(◎あり)

国司の庄政:「尾張国郡司百姓等解文」(◎あり)

寄進地系荘園の成立:●「東寺百合文書」鹿子木荘置文

後三条天皇の荘園整理:『愚管抄』(古写本なし)

院政の開始:『神皇正統記』(◎あり)

『平家物語』巻一(◎あり)

守護・地頭の設置:『吾妻鏡』(◎あり)、『玉葉』(宮内庁書陵部など)

下文:源頼朝袖判下文(小山文書:神奈川県博)・将軍家政所下文(山川氏所蔵)

大田文:『鎌倉遺文』(竹内理三氏の編纂物)

北条政子のよびかけ:『吾妻鏡』(前出)

「貞永式目」

地頭の横暴:●「高野山文書」阿テ河荘百姓等言上状

御家人の救済(永仁の徳政令):●「東寺百合文書」

連歌の流行(二条河原落書):『建武年間記』

半済令(観応令と応安令):「建武以来追加」

惣掟:◎「今堀日吉神社文書」

土一揆の続発と徳政令の発布:◎『大乘院日記目録』、『建内記』(自筆本あり)

山城国一揆:◎『大乘院寺社雑事記』

加賀の一向一揆:『蔭涼軒日録』(原本焼失。東大附属図書館)

自由都市堺について(ガスパル=ヴィレイラ書簡):『耶蘇会士日本通信』(近代の編纂物)

分国法:「朝倉孝景条々」「甲州法度之次第」「今川仮名目録」

織田信長「天下布武」の印章:図版(仙台市博物館所蔵) ←「伊達家文書」?

楽市・楽座の令:「近江八幡市共有文書」(◎安土山下町中掟書)

刀狩令:◎「小早川家文書」

バテレン追放令:「松浦家文書」

琉球と薩摩藩:図版「島津義久が発行した朱印状」(坊津町歴史民俗資料館蔵)

2、国宝の古文書

文化庁「国指定文化財等データベース」 <http://www.bunka.go.jp/bsys/index.asp>

文献史料（紙に書かれた）の指定文化財としての区分（2006年8月現在）

国宝：書跡・典籍 223件、古文書 59件、歴史資料 2件。他に彫刻の附（像内納入文書）。

国宝古文書の相当部分は単品としての指定

まとまったものとしては、いわゆる「高野山文書」のうち

- 『宝簡集』『続宝簡集』『又続宝簡集』全 298 巻+15 冊（1953 年指定）金剛峯寺
重要文化財には、ある程度のまとまりや大規模な史料群の指定も散見する。

巨大な史料群としての一括指定（比較的新しい方針）

※いずれも『大日本古文書』の書目として翻刻刊行（中）。

〈寺社文書〉

- 「東寺百合文書」 京都府立総合資料館

27,067 通（3,863 巻+1,172 冊+6 帖+67 幅+13,695 通）。1997 年 6 月指定

（ほかに東寺蔵「東寺文書」・京大蔵「教王護国寺文書」など）

- 「東大寺文書」 東大寺

100 巻（979 通）+8,516 通。1998 年 6 月指定

（近世分未指定。「正倉院文書」「東南院文書」も宮内庁正倉院事務所の管轄で未指定）

〈武家文書〉

- 「上杉家文書」 米沢市上杉博物館

2,018 通+4 帖+26 冊。2001 年 6 月指定

うぶの状態（原形態を残す）。上杉家ゆかりの国宝：洛中洛外図屏風（上杉本）

- 「島津家文書」 東京大学史料編纂所

15,133 通（848 巻+752 帖+2,629 冊+2 幅+4,908 通+160 鋪+207 枚）。2002 年 6 月指定

近世の大家による収集・整理。別に島津家編纂所の「島津家本」あり。

島津家ゆかりの国宝：太刀（銘国宗）鹿児島・照国神社蔵、太刀（銘康次）萬野美術館旧蔵、太刀（銘吉房）個人蔵。

3、「島津家文書」から

代表的な古文書

岐阜県との関連：関ヶ原の合戦、木曾川治水

4、「小笠原文書」（東京大学史料編纂所蔵）から

恵那地域との関連

II 絵画

初期洛中洛外図

〈屏風〉

◎町田本（歴博甲本）：国立歴史民俗博物館

・東博模本：東京国立博物館

●上杉本：米沢市上杉博物館

◎高橋本（歴博乙本）：国立歴史民俗博物館

〈扇面・画帖〉

〈新出作品〉

『國華』1331号（2006年9月）「特輯 洛外図」

・洛外名所遊楽図屏風（狩野永徳筆）

・洛外名所図屏風（太田記念美術館）

・東山名所図屏風

〈参考〉

◎「近江名所図屏風」 滋賀県立近代美術館

【主要参考文献】

米沢市上杉博物館編『国宝 上杉家文書 図説』（2003年）

鹿児島県歴史資料センター黎明館編『薩摩義士と岐阜の名宝』（1986年）

鹿児島県歴史資料センター黎明館編『黎明館常設展示図録』（1996年）

鹿児島県歴史資料センター黎明館編『奇跡の至宝「島津家文書」』（2000年）

鹿児島県歴史資料センター黎明館編『薩摩切子』（2004年）

『鹿児島県史料 旧記雑録』

山本博文『島津義弘の賭け』（読売新聞社、1997年）

『岐阜県史』史料編・古代中世四、同・古代中世補遺 ※「小笠原文書」「島津家文書」から

『新編信濃史料』12 ※「勝山小笠原文書」翻刻

『岐阜県史』通史編・中世（1969年）

『恵那市史』通史編一（1983年）

『洛中洛外図大観』（小学館、1987年） ※町田本・上杉本・舟木本

京都国立博物館編『洛中洛外図 都の形象』（淡交社、1997年）

米沢市上杉博物館編『国宝 上杉本洛中洛外図屏風』（2001年）

米沢市上杉博物館編『洛中洛外図—くらし—』（2003年）

九州国立博物館編『美の国日本』（2005年） ※太田記念美本のカラー図版

『國華』1331号（2006年9月）「特輯 洛外図」

杉本宏『宇治遺跡群』（日本の遺跡 6、同成社、2006年）

原田正俊「中世の嵯峨と天龍寺」（『講座 蓮如』4、平凡社、1997年）

山田邦和「中世都市嵯峨の変遷」（科研費報告書『平安京—京都の都市図・都市構造に関する比較統合研究とデジタルデータベースの構築』2005年）

大村拓生『中世京都首都論』（吉川弘文館、2006年）